

# 広島・備後

## アンネのバラに学ぶ平和

### 幸千中文化祭で普及活動報告

**福山** 福山市立幸千中学(村上啓二校長)が、「アンネのバラ」の普及に取り組むホロコーストで犠牲に



アンネのバラについて発表する生徒会役員  
＝いずれも福山市立幸千中学で

祭は生徒会役員による活動報告や美術部員が作ったパネル展示があった。

学校の近くにはホロコースト記念館があり、アンネのバラを1995年から育てている。生徒会の10人は今年1月から、記念館の

バラが生み出された経緯などを語り「平和をつくるために世界に目を向けたい」と呼びかけた。

美術部は、部員15人がバラを題材にしたカラーシユやイラストのパネル約20枚を展示した。10月21、22日に記念館で開催される「秋のぼら展」で披露される予定。美術部長の3年、渡辺理紗さん(15)は「パネルを通じて思いやりなどのローズマインドを伝えたい」といい、文化祭を訪れた記念館の大塚信理事長(74)は「アンネと同じ年ごろの生徒による自由な発想の作品になっている。芸術を通して体験として平和を学ぶ機会にしてほしい」と話した。

接ぎ木会に参加するなどバラを育てながら平和について学んできた。

文化祭では、生徒会長の3年、山元聡真さん(15)が体育館のステージに立ち、ホロコーストの歴史やアンネの

見学した3年の坂本唯斗さん(14)は「ホロコーストやアンネのバラのことはあまり

知らなかった。活動に参加してみたい」と述べた。

【関東晋慈】



パネルを制作した美術部員と大塚信理事長(右)

発表を聞き、展示を

福山・尾三

平和願うバラ パネルで紹介

福山・幸千中生徒が作成



アンネのバラや福山のバラをテーマにしたパネル作品を紹介する美術部の生徒たち

2025年に福山市で一会を前に、福山のバラにある世界バラ会議福山大一込められた平和への願い

「記念館を訪ね、資料を読み込んで作った。ひどい歴史が繰り返されないよう、優しさを意味する

や「アンネのバラ」について知ってもらおうと、同市御幸町の幸千中の美術部員がパネルを作った。14日にあった同校の文化祭で披露した。パネルはA3判の25枚。アンネのバラが咲くホロコースト記念館(同町)の大塚信理理事長が、戦後復興を願う市民がバラを植え「ばらのまち福山」となったいきさつや、アンネのバラが誕生した経緯などについて文章を作成。部員たちは、そこからイメージを膨らませた絵、アンネ・フランクや「福山」の名の付いたバラの写真などをパネルに仕上げた。

渡辺理紗部長(15)は「記念館を訪ね、資料を読み込んで作った。ひどい歴史が繰り返されないよう、優しさを意味する

福山の『ローズマインド』が広がれば」と願った。今後はイベントなどで活用する。

この日の文化祭では、生徒会がアンネのバラの普及活動について発表。校内アンケートの結果を踏まえ、アンネのバラが

あまり知られていない現状などを伝えた。柳川稜空副会長(15)は「まずは校内や地域でバラを広

めたい。バラ会議などを機会に世界への発信に目を向けた」と話した。(原末緒)